

家族連れら20人 由利本荘市で教室

イタリアンに挑戦 料理の楽しさ実感



ジャガイモをつぶす作業に取り組む参加者

由利本荘市の子ども食堂「まごころ食堂」(大山慎代表)は23日、市文化交流館カダーレで親子で楽しむ料理教室を開いた。家族連れら約20人が参加し、イタリア料理作りに挑戦した。

まごころ食堂が子どもたちに料理を作る楽しさや大変さを体験してもらおうと企画。今年3回目の講師を、市内のレストラン「Trattoria SIVA(トラトリア シーバ)の柴田知之オーナーシェフが務めた。

食材の購入などには「篠原欣子記念財団こども食堂応援プログラム」の助成事業を活用した。

参加した親子は「ニョッキのボローニャ風」作りに挑戦。子どもたちはゆでたジャガイモをつぶすなどの作業を真剣な表情で進めていた。

参加した阿部大晟さん(12)は、将来料理人になるのが夢だといい「家でもいろいろな料理を作っている。ジャガイモの皮むきが楽しかった。教室で教わったことを家での料理にも生かしたい」と話した。(相沢一浩)